

令和8年度一般選抜N全学統一方式（第1期）における 合否判定ミスについて（お詫び）

令和8年2月9日（月）に合格発表を行いました「令和8年度日本大学松戸歯学部一般選抜N全学統一方式（第1期）」において、以下のとおり合否判定に誤りがあったことが判明いたしました。

受験生および保護者の皆様、関係者の皆様に多大なる御迷惑と御心痛をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

1 ミスの内容

本学部の合否判定資料を作成する過程において、得点データと受験番号との間にデータの不整合（紐付けの誤り）が生じ、実際とは異なる得点に基づいて判定を実施してしまいました。この結果、合格とすべき受験生9名を不合格とし、一方で未受験（欠席）の受験生3名を誤って合格と発表するに至りました。

2 対象者への対応

正当な判定結果に基づき、新たに9名を追加合格として決定いたしました。対象となる受験生の皆様に対しては、速やかに個別に連絡を取り、状況の説明と謝罪を行うとともに、入学意思の確認や必要なサポート、補償等の手続きを誠心誠意進めて参ります。

また、未受験（欠席）の受験生3名につきましては、本学部に入学されませんでした。速やかに個別に連絡を取り、状況の説明と謝罪を行って参ります。

3 原因と再発防止策

今回のミスは、データの集計時に使用した表計算ソフトの関数設定の誤り、および目視チェックの不備に起因するものです。

今後は、人為的な作業工程を削減してシステム内での処理を徹底するよう運用手順を抜本的に見直します。併せて、複数の担当者による相互点検および機械的な照合チェック体制を強化し、再発防止に向けてより一層の適正な入試運営に努めて参る所存です。

以 上